



'25 UKIYO E EXPO in IZUMI

KUBOSO
MEMORIAL MUSEUM OF ARTS, IZUMI

EXHIBITION SCHEDULE
2025.4 → 2026.3

和泉市久保惣記念美術館
年間展示案内

EXHIBITION CALENDAR

2025		日 月 火 水 木 金 土	
4 April		① ② ③ ④ ⑤	
	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫		
	13 14 15 16 17 18 19		
	20 21 22 23 24 25 26		
	27 28 29 30		
5 May			1 2 3
	4 5 6 ⑦ 8 9 10		
	11 ⑫ 13 14 15 16 17		
	18 ⑱ 20 21 22 23 24		
	25 ⑳ 27 28 29 30 31		
6 June		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	
	⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭		
	⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑		
	㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘		
	㉙ ㉚		
7 July			1 2 3 4 5
	⑥ ⑦ 8 9 10 11 12		
	13 ⑭ 15 16 17 18 19		
	20 21 ㉒ 23 24 25 26		
	27 ⑳ 29 30 31		
8 August			① 2
	3 ④ 5 6 7 8 9		
	10 11 ⑫ 13 14 15 16		
	17 18 19 20 21 22 23		
	24 25 26 27 28 29 30		
9 September			① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	7 ⑧ 9 10 11 12 13		
	14 15 ⑯ 17 18 19 20		
	21 22 23 24 25 26 27		
	28 29 30		
10 October			①
	2 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧		
	⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮		
	16 17 18 19 20 21 22		
	23 24 25 26 27 28 29		
11 November			① ② ③
	④ ⑤ 6 7 8 9 10		
	11 12 ⑬ 14 15 16 17		
	18 19 20 21 22 23 24		
	25 26 27 28 29 30 31		
12 December		① 2 3 4 5 6	
	7 ⑧ 9 10 11 12 13		
	14 ⑮ 16 17 18 19 20		
	21 22 23 24 25 26 27		
	28 29 30 31		
2026			① ② ③
	④ ⑤ 6 7 8 9 10		
	11 12 ⑬ 14 15 16 17		
	18 19 20 21 22 23 24		
	25 26 27 28 29 30 31		
1 January		① ② ③	
	④ ⑤ 6 7 8 9 10		
	11 12 ⑬ 14 15 16 17		
	18 19 20 21 22 23 24		
	25 26 27 28 29 30 31		
2 February		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦	
	8 ⑨ 10 11 12 13 14		
	15 16 17 18 19 20 21		
	22 23 24 25 26 27 28		
3 March		1 ② 3 4 5 6 7	
	8 ⑨ 10 11 12 13 14		
	15 ⑮ 17 18 19 20 21		
	22 23 24 25 26 27 28		
	29 ⑳ 31		

○印は休館いたします。 年間開館日数 227日

'25 UKIYO E EXPO in IZUMI

大阪・関西万博が開催される2025年、和泉市久保惣記念美術館では「'25 UKIYO E EXPO in IZUMI」と題して、浮世絵版画を核とした5つの展覧会を開催します。

- **特別展 浮世絵の黄金時代** ^{ゴールデンエイジ} **— 葛屋重三郎と写楽・歌麿 —**
令和7年4月13日(日)～6月8日(日)
- **常設展 ようこそオーサカ、ようこそニッポン** **— なにわ名所と物産図会 —**
令和7年6月22日(日)～8月17日(日)
- **特別展 Over The Waves** **— 南蛮・万博・ジャポニスム —**
令和7年9月7日(日)～11月3日(月・祝)
- **常設展 上方プロマイド** **— 役者絵と美人画 —**
令和7年11月30日(日)～令和8年1月25日(日)
- **常設展 江戸のポップ・カルチャー「浮世絵」** **— 江戸から現代へ —**
令和8年2月8日(日)～3月22日(日)

この5つの展覧会を通じて、浮世絵がいかにして日本を飛び出し、現代にいたるまで世界の人々を魅了し続けるアートとなったのかを知るとともに、その魅力をご堪能ください。

展覧会をより深く知るためのキーワード

- **「江戸のメディア王」葛屋重三郎**
江戸時代後期に活躍したエンターテインメントを支える文化的キーパーソン出版業で敏腕をふるった葛屋重三郎。庶民の求めを敏感に察知した彼の活動は、浮世絵が日本だけでなく世界で愛される要因の一つと言えるでしょう。彼の存在がなければ、浮世絵はこれほど広く普及しなかった可能性があります。華やかな江戸文化を語る上で欠かせない存在です。
- **万博と浮世絵**
1867年の第2回パリ万国博覧会や1873年のウィーン万国博覧会は、東洋と西洋の交流における大きな転換点として歴史的に重要な出来事です。万博では、日本の工芸品、陶磁器、着物、屏風などが展示されました。中でも特に西洋人の関心を引いたのが、浮世絵の斬新なデザインや色使いでした。葛飾北斎らの作品が展示され、その構図の妙や大胆な色彩が、多くの人々の心をとらえました。

- **ジャポニスムの誕生**
万博を契機に、ヨーロッパでは「ジャポニスム」と呼ばれる日本美術ブームが巻き起こります。特にフランスの印象派やポスト印象派の画家たち、例えばモネ、ゴッホ、ドガなどが日本美術に影響を受けました。西洋の伝統的な写実主義とは異なる浮世絵の簡潔な線や大胆な画面構成は、新たな芸術表現の可能性を示しました。ジャポニスムは工芸のデザインやグラフィックアートにもひろがり、多くの作品が生み出されました。

- **万博が果たした役割**
万博を通じて、東洋と西洋の芸術的な対話が一段盛んになりました。浮世絵をはじめとする日本文化が紹介されただけでなく、西洋の美術やデザインが日本文化を取り入れて新たな展開を迎える契機ともなりました。万博は単なる文化交流にとどまらず、世界規模での新しい芸術運動の発展に寄与したといえるでしょう。